

Fだより



今回のFだよりでは、「キャリア・パスポート」についてお知らせいたします。

お読みいただいた上で、9日から行われる面談の際にお話を聞かせていただきたいと思いますので、ご一読くださいますようお願い申し上げます。



キャリア・パスポートって？

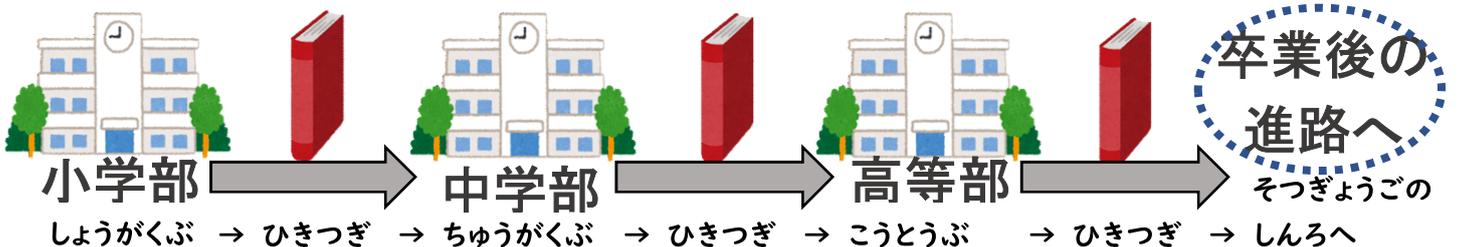
かながわ版「キャリア・パスポートリーフレット」では、「キャリアパスポートとは、児童生徒が、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりしながら、自身の変容や成長が評価できるものであり、児童・生徒、保護者、教員が対話的に関われるよう工夫し、学年や校種を越えて引き継いでいく教材のことで。」と説明されています。

特別支援学校においても、学習指導要領に基づき、「キャリア・パスポート」の活用に取り組んでいます。

F末広では、児童・生徒の障害の状況や特性及び心身の発達の段階等に応じた取り組みや適切な内容を個別教育計画に記載し、個別のファイルに保存して引き継いでいくことを「キャリア・パスポート」の活用としています。個別教育計画には、小学部1年生から中学部3年生までのそれぞれの支援の経過や、成長の記録、本人や保護者の願いが記録されています。上に記したとおり、「キャリア・パスポート」は、児童・生徒、保護者、教員が対話的に関われるよう工夫するものですので、個別教育計画は、保護者の皆様と確認し、「共に作成した書類」として提示させていただいています。後日、個別教育計画の前期評価と後期の目標を提示いたしますので、改めてお読みいただき、学校でのお子さまも学びについて、日々のやり取りの中でいつでもお知らせください。後期の支援方法や評価、次年度への引継ぎに活かしていきたいと思っております。

イメージ...

成長の記録や思いの詰まった個別教育計画の入ったファイルを、「キャリア・パスポート」として、それぞれの学びの場へと引き継いでいきます。



「キャリア・パスポート」や個別教育計画について、ご質問等ありましたら、面談、お電話や連絡帳などでお問い合わせください。